

# くじゅう坊ガツル地域のコケ植物・地衣類群落



平治岳南峰からの雄大な眺め、眼下には坊ガツル湿原を望みます。



フタゴチズゴケ(黄色)とアナイワタケ(黒褐色)

山頂付近の巨岩上では北方系の地衣類フタゴチズゴケ、アナイワタケ、それにタカネゴケが加わり、初夏にはミヤマキリシマの華やかさを添えて、登山者の目を楽しませてくれます。



ススキ草原が広がる坊ガツル湿原



地上に生え、岩上を覆うヒロハススキゴケ



水たまりとヒメズゴケ群落



オオミズゴケ群落



群生するウマスギゴケ、日本庭園などに植えられます。



清らかな川の流れ、花とコケの緑が調和し、美しい自然の宝庫であり、くじゅうならではの景観です。

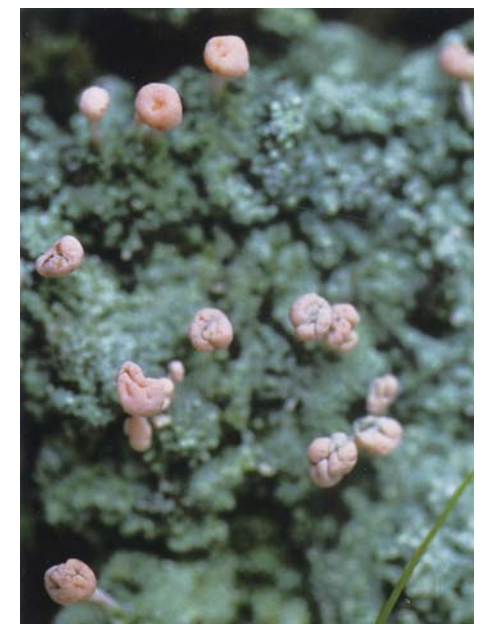


石の河原で帯状に広がる  
コアカミゴケ

日当たりが良く、草木の腐れた土の上や岩上に生育します。

子柄の先端には、鮮やかな赤い花のような子器をつけ、一見華やかな地衣類です。

地上のコアカミゴケ



地上や岩上に固着するセンニンゴケ



岩上のヤマトキゴケ



コミネカエデの幹に着生の  
ナメラカラクサゴケ